

# 令和元年度第1回総合教育会議 会議録

1 会議の名称 令和元年度第1回総合教育会議

2 会議の日時 令和元年9月24日(火) 午後2時00分～午後3時27分

3 会議の場所 中之条町役場 応接室

4 会議に出席した構成員

町長	伊能 正夫
副町長	野村 泰之
教育長	宮崎 一
委員(教育長職務代理者)	登坂 初夫
委員	清水 博巳
委員	小菅 加代子
委員	高橋 久夫

5 会議に出席した職員

こども未来課長	倉林 敏明
生涯学習課長	富沢 洋
教育指導係長	矢嶋 将之
総務係長	山田 秀隆
六合振興課補佐兼総務係長	山本 伸一

6 会議を傍聴したもの

なし

7 報告事項

- (1) 各校園所の状況について
- (2) 吾妻郡民スポーツ大会の結果について

8 議 事

- (1) 六合中学校のあり方について
- (2) その他

9 その他

10 会議における議事の経過及び発言要旨

○ 開会(こども未来課長)

## ○ 町長挨拶

本日より、総合教育会議において、副町長も加わっていただき、皆さんのご意見を伺っていきたい。また、小菅委員について、今回の総合教育で最後となる。これまで、町の教育行政の発展のために、ご尽力いただき、感謝申し上げます。先日、郡民スポーツ大会が中之条町を会場に行われた。町民皆さんの大健闘のもと、すばらしい成果で無事に終了することが出来た。また、昨日まで、ビエンナーレが開催されていた。31日間の開催期間があり、この間、普段あまり人がいないところに、多くの、特に若い世代の来場があり、大変活気を感じた期間だったと思う。人口減少への課題がある中、こういった事業に力をいれて、交流人口を増やす必要があると感じている。これから11月3日には産業文化祭、12月1日にはまちなか5時間リレーマラソンがあるが、委員の皆様においても、引続きご協力をよろしくお願ひしたい。10月1日より、幼児教育の無償化が始まるが、新聞報道でもあるように、各市町村独自の施策で対応を行う。中之条町は、幼稚園・小学校・中学校の給食費無償化を行っており、保育所においても、10月1日より無償化を行うことを承認いただいた。少子化対策の一環として行っていく施策であり、ご協力をお願ひしたい。そして、人口減少対策だが、本日、六合中学校のあり方について協議を行う訳だが、一番の原因は、人口減少にあると感じる。学校のみでなく、医療の関係などあらゆる部分で起因しいろいろな問題が発生する。特に六合地区は高齢化率が40%を越えている場所であり、学校や六合温泉医療センターなどについて、これから議論していかなくてはならない問題である。人口減少は避けて通れない問題であり、どう対処していくのが良いのか議論を行っていききたい。

## ○ 教育長挨拶

お忙しい中、教育委員の皆様にご参集いただき、感謝申し上げます。

総合教育会議の事務局は、教育委員会になる。昨年は、大体、学期に1回ということで年3回開催した。本年度は本日が第1回目の運びとなる。六合中学校のあり方については、教育委員会・総合教育会議において議論いただき、今年度中に方向性を出したい考えである。昨年度は、7回の検討委員会を行い、報告書が町長、教育長に提出されている。この報告書をもとに、教育委員会では、4月から臨時会を含めてこれまで7回、協議事項として検討してきた。

それを受けて、総合教育会議において検討していききたいということで、町長に依頼し、本日の運びとなった。また、教育委員会だけでは、解決できない問題もあるので、副町長にも出席をお願ひしているところであり、十分に検討していただけるとありがたい。

## ○ 報告事項

### (1) 各校園所の状況について

(教育指導係長から状況報告)

- ・不登校児童・生徒について、8月に1名が増となっている。
- ・いじめについて、各校において、細やかに見取りを行っており、軽微なものについても報告されている。現在のところ、重大事案につながる案件は無い。
- ・問題行動については、今年度は自傷に係る報告が多くなっており、心配されるが、学校においては、報告された月のみでなく、引続き丁寧に見取りを行っているところである。
- ・適応指導教室「虹」について、昨年度末は6名の在室だったが、2名が卒業し、4月より2名の入室があった。9月より1名が入室となり、現在7名在室している。今年度より、指導員が2名体制となったことにより、学校との連携が強化された。

(2) 吾妻郡民スポーツ大会の結果について

(生涯学習課長から報告)

- ・郡民スポーツ大会では大変お世話になりました。入賞結果は、優勝9、準優勝7、第3位6と例年以上の成績を収めることができました。

○ 議事(議事進行 町長)

(1) 六合中学校のあり方について

こども未来課長から資料について説明を行う。

【質疑・意見等】

(町長)

説明のあった資料は、事前に目を通しており、これまで定例教育委員会で協議されてきた内容や、委員さん方の意見は、この中に集約されており、だいたい把握をしている。総合教育会議において、委員さんの意見を伺うのははじめてとなるので、資料にあること以外で、委員さん方のご意見があればお願いしたい。

(登坂教育長職務代理者)

教育委員会で視察を行い、感想としては、義務教育学校化については、ある程度の年月が必要となる。人口減が見込まれる中、中学校を存続し続けていくことは、様々な問題が多くなることであり、非常に難しいことと考える。

中之条中学校へ統合し、多くの生徒がいる中で、学べる環境を整えてあげるというのが、良いと思う。しかし、距離が問題である。通学にかかる時間を短縮する方法を検討し、中之条中学校へ通学できれば良いと考える。

(清水委員)

検討委員会の報告書では、義務教育学校化することが適当であると報告がある。

学校規模の大小で善し悪しを考えたくないと思っている。今いる子供たちのことを考え、進めていければと思う。

(小菅委員)

視察を経て、生徒数を増やすために、山村留学や、学区外通学など、様々な取り組みを行っていたが、これから、人数を今以上に増やしていくことは、かなり大変なことだと予想できる。

人数の多い、少ないが、良い悪いとは思わないが、多くの人の中、多くの価値観の中で子供たちを育てていくことが大事だと考えるので、通学する手段があれば、中之条中学校へ通わせるのが良いと考える。

(高橋委員)

義務教育学校化であれば、校舎の問題、委託であれば、受入れ先の問題があり、これらに取組むには、かなりの時間を要すると考える。中之条町の子供たちは、中之条町で学べるのが良いと思う。しかし、距離が課題となる。冬場の交通事情等の安全面を考慮して、JR 吾妻線を使った通学が良いと考える。

寄宿舎を利用することについては、中学生では難しいと考える。やはり、各家庭から通えるのが一番良いと考える。例えば、自宅から、駅まで乗用車を使うなど、考えられる工夫を行い、時間短縮を図る。また、乗用車使用分について、補助金を出すなど考えていければ良いと考える。

(教育長)

今から六合小中学校一体型の校舎を整備するとなると、始めるまでに3年～4年必要になるだろう。今後の児童・生徒数を見ていった時に、存続できるのかどうか考えていかなければならない。

今の町村単位で学校を作っていくのであれば、町村単位で育てるのが良いだろうと考える。距離はどうにもならないので、子供たちの負担を軽くするため、時間短縮の方策があるのであれば、中之条中学校の生徒と六合中学校の生徒と一緒に学べるのが良いと考える。

県内の市で、通学にタクシーを使っているところがあるという情報があるので、今後、状況を調べたい。

(町長)

委員さん方のご意見を聞かせていただいた。概ね、これまで定例教育委員会で話し合われてきた内容と同じであるということで聞かせていただいた。その中に、検討委員会の中で、義務教育学校化を進めるということに対して、地域住民は期待をしているということだったが、どういったことか確認したい。

(清水委員)

検討委員会の報告書で出された内容が、決定したことでは無いということは、承知はしているが、期待を含めて、六合に学校を残しておきたいという意見がある。保護者の中には、過去に学校の統合を経験し、寂しい・辛いといった思いを持ち、子供たちに同じ思いをさせたくない。六合で子供を育てたいといった意見もある。

中之条中学校に通うとなった場合、子供に対して、保護者の心配や不安の声も聞いている。

保護者が、学校行事やPTA活動で中之条中学校に向かうことに、距離があり大変であるということも聞いている。

(町長)

学校が無くなるということが、寂しいということだと思うが、中之条地区においても、学校の統合を行っており、母校が無いという人は多い。親の感情のひとつであり、子供たちが同じ思いでは限らない。今の中之条を例にとっても、寂しい思いをしている方もいると思うが、結果として統合して良かったという意見が多いと感じている。一人ひとり考え方が違うので難しいが、統合した学校に通わせることに不安を感じることもあると思うが、生徒に対しては、学校できちんと指導を行い、対応し、取組んでいくということになる。

(清水委員)

中之条中学校へ統合するとなると、通学の事が一番の問題となると考える。

中之条地区において、現在スクールバスで最長の通学時間が約1時間であるということは、承知をしている。

例えば、冬の道路事情を考えると、通学距離が遠くなることで、心配な面はあると思う。

(町長)

中之条地区の約1時間というのは、途中、何カ所も乗車しながらかかる時間である。

例えば、ある場所に集まって一回で乗車し、止まらずに向かったり、あるいは、通学にタクシーを利用したりと、いくつかの方法はあるのではと考える。

(高橋委員)

先程、大きな学校・小さな学校という話があったが、大きな学校に来て、小さな学校でしっかりとしている子供たちは、十分に個性を出して学校生活を送れて大丈夫だと感じる。例え

ば、部活動において、小さな学校では、選択肢が少ないが、大きな学校となると選択肢も広がるので、中之条中学校への統合が良いのではと考える。

視察研修後から、中之条中学校への統合という話の流れになってきている。

検討委員会の報告書では、義務教育学校化をすることが適当であると、出されているので、これに沿って進んでいければと思うが、駄目であれば、現状のまま残して置くことが出来ないだろうか。郡内で学校の在り方を検討していく中で、六合中学校の在り方を考えていけないだろうかと考える。

(登坂教育長職務代理者)

これまで、協議を重ねてきたのは、六合地区の子供たちの人数が少なくなり、今後も減って行く中、学校を維持するのが大変になってくるという事で、この検討は始まっている。

現状のまま、足踏みをして、次の展開を待つということではないと感じる。

(小菅委員)

自分が経験したのは、子供が高校生になってからだが、自宅から遠くの学校に通うことは、親としていろいろな心配をいただく気持ちはわかる。学校から遠いとか、近いとかではなく、親として子供達のためにと思える気持があるのであれば、PTAにも協力できると思う。どんなに近くであっても、いろいろな事情で参加出来なかったり、しなかったりという事もあるので、人それぞれ意識は違うと思うが、自分は、子供たちのためならばという意識でありたいと思う。また、広域圏での学校の取り組みには、町村により状況がさまざまであり、すぐには難しいと感じた。そんな中、中之条町は、英語教育に関しても、適応指導教室への取り組みや、アウトメディアへの取り組みなど、かたちだけで取り組むのではなく、子供たちのために親身になり、一步一步進んで取り組んで来ているため、子供たちにとって良い教育環境にあると感じているので、中之条中学校へ通ってきてもらいたいと感じている。

(町長)

たしかに、学校との距離が遠くなるということはあるが、実際保護者に急に学校へ呼び出されるということはあるのか。また、頻繁にあることなのか。

(教育指導係長)

急な呼び出しでは、お子様の体調不良の場合には、想定できることである。体調不良を起こしやすい場合は、呼び出しが多くなるということが想定される。それ以外については、生徒指導上、問題となる場合が想定でき、稀なことではあるが、緊急を要することであるので、ご協力をお願いすることになる。通常、計画的ではない呼び出しというものは、多くはない。

(町長)

学校の広域化という話があったと思うが、町村を越えて学校を経営するという事は、あり得ると感じている。吾妻地域は、特に人口減少が激しいところであり、人口推計を見ても、何年か後には、学校の経営ができなくなるのではと分かっている、今が良ければ検討しないところというのは、多くあるのではないか。中之条町の特に六合地区については、危機感をもって先行したかたちで取り組んできている。近隣町村で将来的に広域化への取り組みの可能性もありえる訳だが、温度差もあり、現時点では2年・3年後にこれを行うことは、全く考えられない状況であるため、現在としては視野に入れなくて良いと考える。

(副町長)

これまでの資料をみさせていただいた。これらによると、3つの選択肢に絞られてきていることが分かる。一つは、義務教育学校化を図る、2つ目は、他校へ委託を検討する。3つ目は、

中之条中学校へ統合するという示されてある。それぞれに課題があるなか、今後検討を進めていくなかで、消去法的な考えで選定していくのではなく、子供たちにとってどれが一番良いのかという視点を基準に置いて考えてもらいたいと感じた。保護者の事を考えていくと、複雑になり、方向性も難しくなっていくのではと感じた。

(町長)

今回の総合教育会議で、ある程度の方向性を示した上で、今後の協議を進めていかないと決まっていけないようにも思うがどうか。

(教育長)

いずれにしても結論を出して行かなくてはならない問題である。方向性を示していただいた方が、次回の総合教育会議に、課題を整理したものを提示し協議を行うということで、一歩ずつ前へ進めることになると思う。

(町長)

総合教育会議の中で結論が出るが、それを持ち帰り地域に説明会を行うということになるのか。

(教育長)

町の方向性が出た段階で、地域に説明を行うことは必要であると思っている。ご意見ご要望があれば、それを踏まえて検討して行かなければならないこともあると思う。

(町長)

委員の皆さんの意見としては、中之条中学校へ統合するという意見が多いと感じる。これまで、協議を重ねてきていることであり、これ以上、議論をして違う方向に行くというのは、考えづらい。総合教育会議として、中之条中学校へ統合するという方向で、今後進めることでよろしいか。

次回の開催の際には、一番の課題である通学時間について、どういった方法があるのかということ、具体的に現地調査を行うなど資料を準備いただきたい。タクシーも含め考えられる色々な方法を考えていただきたい。

教育委員会も議会も合議制であるため、委員の判断をいただきたい。中之条中学校へ統合するという方向で進めていくということによろしいか。

(異議なく承認)

(町長)

本日の総合教育会議の方向性とする、中之条中学校へ統合するという考えのもとで、今後協議を進めていきたい。調査、研究は引き続きお願いしたい。

## (2) その他

なし

## ○ その他

(教育長)

中之条中学校へ統合を検討するなかで課題である通学時間について、事務局の方で資料がまとまり次第、次回の総合教育会議を開催することによろしいか。

(町長承認)

1 1 閉会（こども未来課長）